

# 羽田空港の沖合展開計画のねらい

AIMS OF HANEDA OFFSHORE DEVELOPMENT PLAN

## 騒音問題の解消 ALLEVIATION OF AIRCRAFT NOISE

### 海から入り海に出る滑走路運用方式——音の沖合移転

Offshore Relocation of Runway Permitting Over-Water Approach/Departure means Relocation of Noise Offshore

国の内外を問わず航空機騒音が社会問題化していますが、このことは羽田空港においても例外ではありません。飛行経路の改善や民家の防音工事等さまざまな対策を行っていますが、問題の抜本的解決には至っておりません。

本計画においては、新A滑走路(3,000m×60m)、新B滑走路(2,500m×60m)及び新C滑走路(3,000m×60m)の3本の滑走路を整備することにより、次の3つの離着陸を原則としてとりやめることができます。

(イ) 新A滑走路から北側への離陸

(ロ) 新A滑走路へ北側からの着陸

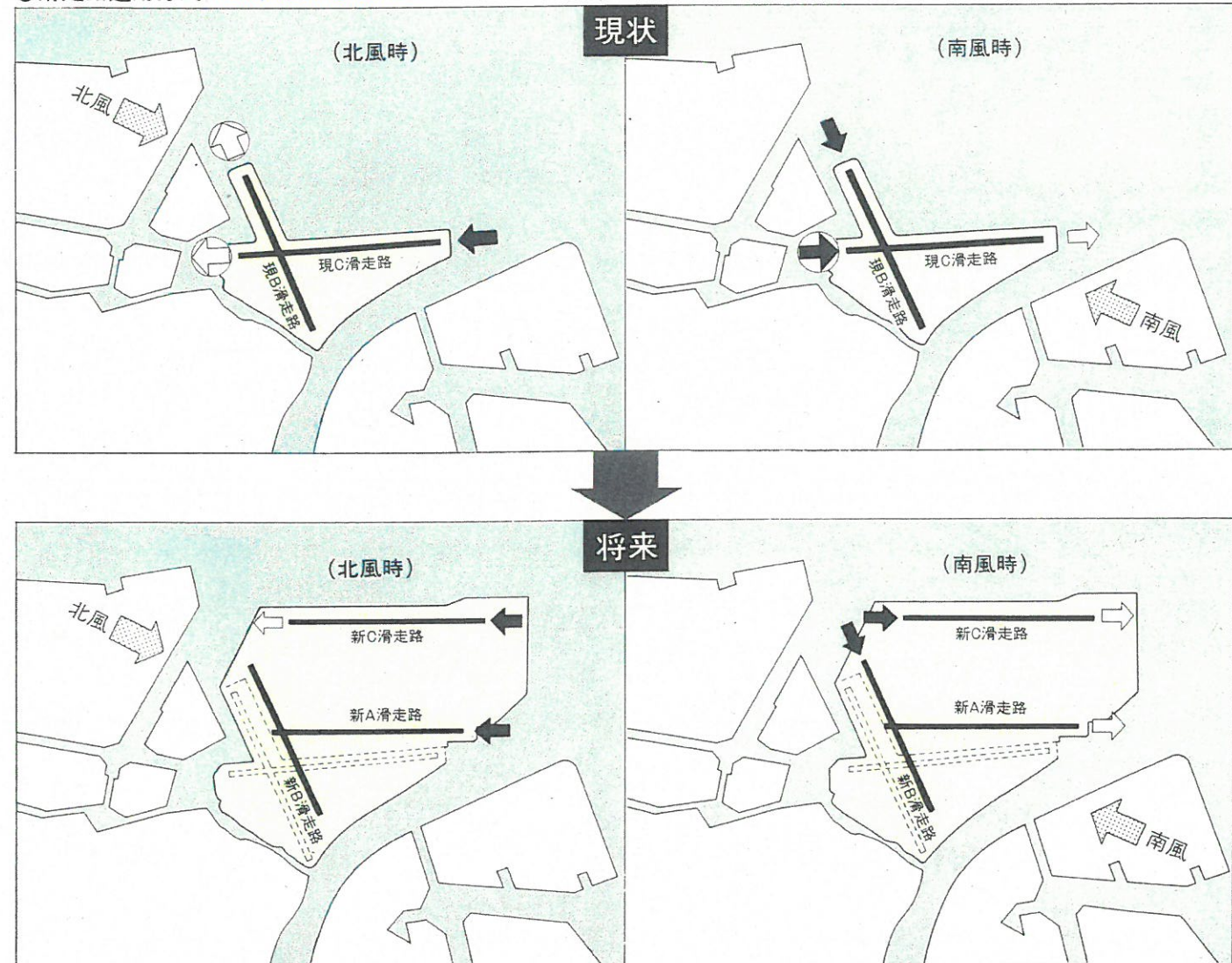
(ハ) 新B滑走路から北側への離陸

すなわち、海から入り海に出るという運用方式を100パーセント採用することにより、騒音問題を抜本的に解消することができます。羽田空港の沖合展開は、いわば音の沖合移転ともいえます。

この計画が完成しますと、既成市街地に対する航空機騒音の影響を、環境基準で定められたWECPNL（うるささ指数）70以下にすることができます。

### ●滑走路運用方式 Runway Operating Procedures

凡例 ◁ 離陸 ◀ 着陸 ⊕ ⊖ 騒音問題あり



### ●騒音予測コンター Projected Noise Contour

